

様式 B - 2 別紙【作成上の注意】

1 科研費種別

第1・2種科研費（文部科学省交付分）と第3種科研費（独立行政法人日本学術振興会交付分）で分けて作成すること（一覧の表の左上「第 科研費」の箇所に「第1・2種科研費」又は「第3種科研費」と記載すること）。

2 課題の記載順番

一覧に記載する課題の順番については、まず研究種目順に、次に課題番号順（番号の若い順）に記載すること。

研究種目の順番は以下のとおり。

<第1・2種科研費の研究種目>

特別推進研究、特定領域研究、若手研究（A）、若手研究（B）、特別研究促進費、研究成果公開発表（A）

<第3種科研費の研究種目>

基盤研究（S）、基盤研究（A）、基盤研究（B）、基盤研究（C）、萌芽研究、若手研究（S）、若手研究（スタートアップ）、特別研究員奨励費、学術創成研究費、研究成果公開促進費（学術図書）、研究成果公開促進費（データベース）

3 ページ数

ページ数を記載すること（例えば3ページのうちの1ページ目の場合は「1 / 3」）。

4 「研究機関」欄

所在地の記入については次によること。

大学、短期大学、高等専門学校等は、「全国大学一覧」、「全国短期大学一覧」及び「高等専門学校一覧」の本部の所在地を確認のうえ記入すること。

文部科学省の施設等機関は、「文部科学省職員録」の機関所在地を記入すること。

国若しくは地方公共団体の設置する研究所その他の機関、特別の法律により設立された法人若しくは当該法人の設置する研究所その他の機関又は民法第34条の規定により設立された法人は、文部科学省に届けている所在地を記入すること。

本邦の法令に基づいて設立された会社その他の法人が設置する研究所その他の機関又は研究を主たる事業としている会社等であって、学術の振興に寄与する研究を行う研究者が所属するもののうち、文部科学大臣の指定を受けた研究機関は、機関の指定を受ける際に提出した申請書に記載の住所を記入すること。

5 「研究種目」、「課題番号」、「研究代表者」及び「研究課題名」欄

それぞれの研究種目、課題番号、研究代表者の所属部局・職名・氏名、研究課題名を記入すること。

6 「交付を受けた補助金」欄

平成19年度に交付を受けた補助金を円単位で記入すること。

なお、間接経費の交付を受けてない場合は、「間接経費」欄に「0」を記入すること。

7 「左の額の支出見込額内訳」欄

「交付を受けた補助金」欄に記載した額のうち、繰越承認要求額及び本年度支出見込額をそれぞれ円単位で記入すること。

なお、繰越承認要求額は、直接経費と間接経費の合計額を記入すること。

8 「補助事業完了時期」及び「繰越事由」欄

様式 C - 2 に記載されている補助事業完了時期の日付（年月日）と繰越事由の記号を記載すること。

9 とりまとめ方法

様式 B - 2 別紙（科研費種別ごと）を先頭に、様式 C - 1、様式 C - 2 及び様式 C - 3 を一組とし、様式 B - 2 別紙に記載している順（研究種目順及び課題番号順）にとりまとめること。